



グローバルTOP10 を目指す挑戦。“One KWE”の一員として能動的に活躍する人材育成に注力

目的

環境の変化に素早く対応できる組織へ。次代を担う人材育成を強化

2020年に創立50周年を迎えた株式会社近鉄エクスプレス（以下、KWE）は、「Global Top 10 Solution Partner –日本発祥のグローバルブランドへ」という長期ビジョンの実現に向けて、新たな50年への歩みを始めています。

世界299都市に667拠点（2024年1月時点）を構えるKWEは、従来、海外現地法人各社の強みを活かし、柔軟に連携することで国際輸送サービスを最適化してきました。

従来からグループ内で発揮されてきたチームワークを “One KWE” という言葉であらためて表現し、その力をグローバルで最大化することを目指しています。

さらに「ビジネスの基本は人材」であることを強く意識しているKWEでは、2020年12月に「KWEリーダーシップコンピテンシー」を策定。求める人物像やKWEらしい行動を明文化し、従業員育成の柱としています。

社員個々人が自分自身を成長させ、充実したキャリアを享受できるように、教育環境を整備し、「後継者育成計画」にも取り組んでいます。

KWEではまた、“型にはまった研修” だけでなく“ 個々人の能動的な学び” を支援することにも注力。LinkedInラーニングをグローバルで採用しています。

近鉄エクスプレスについて

株式会社近鉄エクスプレスは、1970年1月に近畿日本ツーリストから分離して、日本初の航空貨物専門会社「近鉄航空貨物株式会社」として設立。以降、グローバルにビジネスを展開。1969年4月には、業界に先駆けて香港に現地法人を設立。さらに翌5月には、米国法人を設立。その後も世界各地にネットワークを広げ、国際輸送サービス網を拡大。企業として成長を続けてきました。

目標

個々人が、自分自身を成長させることができる学習環境づくり

従業員

18,856名（連結）
（2023年9月末時点）

業種

国際航空貨物輸送、国際海上貨物輸送、通関業、倉庫業など

本社

日本、東京

エリア

グローバル



解決策

“個人の成長意欲”を満たす学習環境をLinkedInラーニングで整備

未知のトラブルにも対応できる「能動的な人材」を育てることの重要性

国際輸送サービスを展開するKWEの事業は「人材を磨くことがすべての基礎」になっていると、上席執行役員 コーポレート・ヒューマンリソース部長 古川 祥隆 氏は言います。

例えば、KWEの主力ビジネスであるフォワーディング事業では、多種多様な品目を取り扱い、加えて、時間・品質・効率等の様々な顧客の要求に応えることが必要です。その為には、状況を正確に把握し、判断することが要求され、そこに「人材の力」が活かされます。

さらに「人材の力」が活かされるのが、未知のトラブルや地政学リスクへの対応です。近年、コロナによるロックダウンや各地で発生した戦争など、かつて経験したことのない事象が起り、KWEの国際輸送サービスも大きな影響を受けました。しかし「簡単にあきらめることなく、能動的に活躍できる人材が世界の各所にいたことで、苦難を乗り越えることができた」と古川 氏は言います。

「コロナ禍では、『航空機が飛ばない』という誰もが経験したことのない事態に陥りました。しかし、世界に広がるKWEグループのそれぞれが、仲間たちから“バトンを受け取る前”そして次の仲間に“バトンを渡した後”のことまでを想定しながら、自分たちにできることを探っていました。参考にできる前例もなく、頼るべきマニュアルもない中、能動的に考え、行動した社員の方々には頭が下がります。それと同時に、こうして自ら行動できる人材をより多く育てていくことの重要性を、改めて実感しました」

集合研修などにプラスして、多種多様な学びが得られるLinkedInラーニングを導入

KWEでは従来から活用してきた研修・教育プログラムに追加する形で、“グローバルで共有できる学習プログラム”の導入をかねてより検討。2020年にLinkedInラーニングの導入を決定しています。

LinkedInラーニング導入のきっかけは、ある海外グループ会社の1社から紹介を受けたことにあると古川 氏は振り返ります。「他の海外法人にもヒアリングしたところ、彼らの関心も非常に高かったため、グループ全体での試験導入を実施、そこで非常に優れたコンテンツがそろっていることを実感しました」
このような経緯を経て、KWEグループの学習基盤として採用することが決定したと言います。

多様な答えにたどり着くことができる、バリエーション豊かな学習コンテンツを評価

古川 氏はLinkedInラーニングの利点の1つとして「コンテンツの多様性」を挙げています。

「例えば“コーチング”と一口に言っても、さまざまなスタイル、アプローチの仕方があります。つまり、答えは1つではないのです。これは、リーダーシップやコミュニケーションなど、いわゆる“ソフトスキル”全般に共通する事実です。その点、LinkedInラーニングであれば、1つの答えに偏ることなく、多様な学びを得ることが出来ます」



多種多様なコンテンツで
個人のスキルアップ / キャリア形成に寄与



日本、欧米、東南アジアなど
29か国の拠点で活用されています

LinkedInラーニングでは20以上の言語で学ぶことができます

LinkedInの特徴

グローバル共通の学習基盤として導入がしやすく、導入後のサポートも充実している

世代別のキャリア形成 / リスキリングに期待

KWE国内拠点におけるレポートでは、30~40代の管理職 / リーダー候補を中心にLinkedInラーニングの活用が活性化しているといえます。またベテラン社員の力をさらに活かす「リスキリング」にも、LinkedInラーニングを活用することを想定しています。

LinkedInラーニング上で 推奨コンテンツを紹介

LinkedInラーニングには、日本語版だけでも1,200を超える学習コースが揃っています。さらに字幕視聴できる英語版コンテンツを加えると1万を超えるコースがあります。そのため、「何を学習するか迷う」という社員のために、KWEでは時勢に応じて推奨コンテンツを選定。学習者が選択しやすいように誘導しています。

カスタマーサクセスと協働して さらなる活用促進へ

LinkedInラーニングを導入後は、継続的にLinkedInのカスタマーサクセスとの定例ミーティングを実施。LinkedInのカスタマーサクセスが提供する「他社における活用事例」や「さらなる活用深化に向けた提案」など情報を享受することで、KWE内の活用促進に向けた施策を積み重ねています。「伴走するパートナーとして、非常に心強く思います」(古川氏)

「個々の成長に関しては“多方面にアンテナを張る”ということが大切だと思います。LinkedInラーニングの中には、多種多様なコンテンツが揃っていますので、少しでも気になったら視聴することをお勧めします。自分の期待と違っていたら、視聴をやめればいい。それだけでも、その人の中には何かが残るんですから」



古川 祥隆 氏
上席執行役員
コーポレート・ヒューマンリソース
部長

